ACE Hokkaido 教育とコンピュータ利用研究会北海道支部
NEWS LETTER Vol.5.8.Aug.1998 ACE北海道

POEM`98 開催！

事務局　吉田

８月の6,7日両日、熊本県は阿蘇のふもとでACE恒例夏のイベント、教育とマルチメディアのパーティ「POEM`98」が開催されました。

前日のネットデイから始まって、建築家鈴木　俊恵さんの基調講演、各事例発表やいつものこどものじんじなど、好天に恵まれた阿蘇でおなじみのイベントが繰り広げられました。北海道支部は道都学生達の発表や、宴会係など、八面六臂の活躍で、２日間を盛り上げた？つもりです。

フル行程５泊６日の長旅の報告をお届けします。

POEM'98 での学生の発表を終えて

道都大学短期大学部　由水　伸
mailto:yosimizu@netfarm.ne.jp

一昨年、９名、昨年７名の参加を果たした道都短大の学生達は、今年は紋別の社会福祉学部へ編入したＯＢ？の応援を経て、引率教員２名を含めると９名もの大所帯となって阿蘇への遠征となりました。今回参加した７名の学生の内、４名はPOEM'96またはPOEM'97の参加学生で、彼らにとってもPOEMはすっかり年中行事になったようです。

さて、参加メンバーの主役はマルチメディア部（昨年まではＯＡ研究部）の部長の射水理沙と、情報処理研究部長の中原弘達。射水は昨年のPOEM'98でデジタル新聞工房を経験し、その後、雪まつり新聞と徐々に経験を積んできています。

中原君。真剣な眼差しで台本とPowerPointを同期してます

今回のPOEMでは彼らに少し負荷をかけることにして、これまでのデジタル新聞に携わった経緯を阿蘇現地で発表してもらうことにしました。発表の中身は別途機会があればお知らせするとして、発表までの経過を簡単に報告します。原稿作りを始めたのは約１ヶ月前から。大まかなストーリーは示唆したものの、細かな文章は何度も練り直してもらいました。以前なら短い文章しか書けなかった彼ら（彼女ら）ですが、さすが雪まつり新聞の試練を越えただけあります。幾度も書き直させたのですが、あきらめずに熱心に取り組んでいました。肝心の発表用のスライドはPowerPointを使い、こちらは初めて使う割には、無難にこなしていました。

綿密な台本で何度もリハーサルしたようです。

本番までの発表練習は実際にプロジェクションスクリーンを前にして行い、ストップウォッチで時間を計りながら原稿を調整します。時節柄丁度、高校の先生の学校見学会があり、通り道の教室（ゼミ室）で練習し、心臓を鍛えることにしました。この段階までは順当でしたが、最後まで発表役の射水は原稿の暗記ができないようです（原稿が長い）。結局、手持ちペーパーの存在を許してしまったことが、心残りでしょうか。

発表本番は会場がメイン会場から離れたうえ、開始時間も遅れた関係か、聴衆はまばら。しかしながら大勢のＡＣＥ北海道の暖かい視線に守られて、彼らの初の発表会は順当にすぎていきました。終始スライドの操作を担当していた中原も、最後に自分の発言の番になると結構元気で発言し、終わったあとの感想は「なんだ、これだけしか見てくれる人いなかったのかぁ」・・・　あれぇ、いよいよ本番という昼食時、「先生、なんだか体の調子がが悪いんですけど。」と言っていた、さっきの体調不良は何だったのだろう？

最後に、日頃、学生に大勢の人の前でプレゼンテーションを行うために、丁寧に指導する機会はなかなか得られないのが現状です。今回のＰＯＥＭをその場に提供いただき、いろいろな面で教育の場として生かすことができました。この場を借りて、ご助力いただいたみなさまに心からお礼申し上げます。

夏だ！旅だ！ POEM`98 食いしん坊編

事務局　吉田

いやいやPOEM行って来ましたよ。

昨年初参加のPOEM`97大阪の思い出として印象に残ったのは、食い道楽の町大阪に来てるのに、新聞工房の作業が忙しく、ローソンのもりそばやおにぎりを喰わなければいけなかったことでし

た。最終日に少し回れたけど、食いしん坊吉田としては満足できなかった。その屈辱をはらすため、九州食いしん坊の旅５泊６日に旅立ったのです。（胃薬忘れちゃったけど）

千歳を飛び立つ前にまず生ビール一杯。旅行の醍醐味は普段飲まない昼酒が飲めることですよね。

福岡空港から熊本へ一路バスで移動。今回往復とも福岡での時

お約束のこういう状態。このくらいは序の口です。

間はほとんどなく、T=ZONEキャナルシティ店にいくこともなければ長浜ラーメンの屋台を攻めて歩くこともなく、おとなしいもんです。

３時間弱で熊本市内へ。夕刻になっても全く気温の下がる気配がないのに驚きです。

ホテルに入った後、道幸先生夫妻、堀尾先生らの一行と連絡を取り合って、馬刺を食べに合流。ホテルの観光マップなど見ながら、馬刺の美味そうな居酒屋「五郎八」を探し当て、食いしん坊宴会第一夜の始まりです。我々は道すがらのタクシーで仕入れた極秘情報「呑むなら焼酎、百岳の『しろ』だ」を合い言葉に、ビールもそこそこに早速ボトルで頼み、堀尾先生の差し入れ分も含めて２本を空にする勢い。タクシー情報では「水割りお湯割り、いずれもいけるがビールで割りよる人もいるしポカリスエットも結構いける。キュウリを入れて河童割りゆうのもあるとよ（いい加減な熊本弁だ）」ということで、道中この『しろ』を恐ろしい勢いで呑み続けることになります。肝心の馬刺ですが、鮮度もいいし薬味とたれのバランスもいい。特筆すべきはたてがみの部分「コウネ」の野趣あふれる味わいです。最初は真っ白な外見にたじろぎましたが、食べるとマグロの大トロのような味と舌触りで何ともいえません。

時計好きのご主人、ご馳走様。ラーメンほめなくてごめんね。

そして、帰りはラーメンです。有名店をいくつか探してみたのですが、やはりせっかくなので地元のお姉ちゃんたちを道幸先生夫人に捕まえてもらって、おすすめの店まで連れて行ってもらうという暴挙にでました。白濁してるけどあっさり味のとんこつスープとまっすぐで固めの麺、キクラゲなどのシンプルな具が熊本ラーメンの特徴です。

夜になって尾崎、半澤両先生合流。疲れてるくせにまた部屋で宴会です。

翌日午前中の空き時間を利用して熊本城などを見物。もう暑くて暑くて城内でビール。その後どうしてもラーメンがもう一杯食べたくて、結構有名な「こむらさき」を探して行きました。「王様ラーメン」は軽く揚げた刻みニンニクが香ばしい。

午後から阿蘇を目指しましたが、周りは通学の中高生とかなのに、我々はどかっと座ってビールから『しろ』に突入。もう怖いものなし。

阿蘇ではなるべくおとなしくしていようと考えていたのですが、２晩とも北海道支部の部屋が宴会場と化し、特に理科教諭の方々中心に、大盛り上がり大会を繰り広げました。呑まない半澤先生が道幸先生のレンタカーで買い出しに行ってくれたりして、もうみなさんにうれしいやら申し訳ないやら。

しろ。『しろ』じゃないです。

さて、POEMの盛り上がりの余韻を残しつつ、一路長崎へ高速船で向かった我々。タイミング悪く昼飯を食いっぱぐれ、もうホテルに着くやいなや、中華街目指して突進です。やはり長崎の皿うどんは細麺（固い）と太麺（柔らかい）、二種類あることを確認し、まず柔らかい方から。皿うどん専用のソースなんかもあったりして、なかなかの味が楽しめます。二重橋や出島跡の見物もそこそこに、今度は「るるぶ」で確認した居酒屋へ。鯨刺身盛り合わせとか光り物系の刺身がなかなかいけます。で、居酒屋で飽き足らない食いしん坊は、帰り際にまた中華街に寄って、チャンポンを一杯。もうここまでくると、結構自分でも驚きますね。

最終日は原爆の日、真面目に追悼式典に出席し、長崎見物しながらも、食事はまた中華街にて今度は細麺の皿うどんと水ギョーザ。つるつるとした食感が疲れた胃を優しくいたわってくれます。フィナーレは学生達交えてみたび中華街で大宴会。途中説教モードに入りつつもフカヒレスープとか春巻きとかをバカバカ食べました。

最後の部屋宴会では、『しろ』のトロピカルドリンク割り通称「長崎の夜」という恐ろしいカクテルが登場し、予測されたとおり呑みすぎで翌朝はひどい宿酔い。福岡行きの高速バスの中でも厳しい状態が続き、つらいものがあったのですが、最後に福岡空港でもラーメン１杯食べることができるのが不思議です。さすがに替え玉はできなかったですが、紅生姜たっぷり入れて楽しませていただきました。

自分の能力の限界に久しぶりに挑戦した６日間、ちょっとわが

ままは言いましたが人に迷惑かけることなく過ごせてよかったなあ。って、事務局の人間の言い分だろうか全く。

ACE 幹事会報告!!

～みんな会費払ってね ^^;～

発寒中学校　荒島　晋

本年度のPOEM98 in ASOも300人弱の人が集まり無事終了しました。直前に退院され体調がすぐれない中で登場した吉富支部長を始め，ACE 九州の皆さんに感謝します。

さて，全国の幹事会をPOEM当日をはさみ２回もちました。その中で確認されたことを報告します。

１．本部事務局からの報告

○１～６月までの収支について報告がありました。その中で，２月のACE幹事会（総会）への交通費の内訳について質問がありました。

○幹事会の旅費については，参加される幹事（各支部２名分）が利用される会場までの交通費を補助するとなりました。今までは空港－空港でしたが，今回の会場は空港までの距離が相当遠かった支部があったための措置になります。

○支部活動経費については，各支部での事情が異なると考え，事前に本部事務局に申請されたものに関して，本部事務局と支部間で相談の上決定することになります。事後請求でお金がないことも考えられるからです^^;現在のところ葉書代を請求するところや何も請求がないところなど支部間に軽重があるとのことです。

○現在までの各支部の登録会員数と会費の納入状況について報告がありました。北海道支部は納入率25%...ピンチです。

固い握手してるし。なにを約束したんだ。

○ ACE-net ID 発行遅れの原因は，日本代理店であるクリエイトからカナダの製造元にアップデートのためディスクを送ったがカナダからクリエイトへディスクが戻ってきていないということです。クリエイトを通して頻繁にカナダと連絡を取り合っているとのことです。現在の総アカウント数からいうと，ディスクが戻ってきた段階で全会員にIP接続のACE-net IDは確保されているとのことです。

２．ACE-HomePage（www.ace.or.jp）について

関西支部からCGIの設定についての要求がありました。現在，小川先生がperlを設定中です。ACEホームページの有効利用について今後もアイディアを出していくということで意見が一致しました。この件に関しては，まずCGIによる，IDとパスワード設定を行い会員専用のページを設定する，IDとパスワードを入れる具体的な方法の説明のような感じにするというような具体的な提案もありました。

いやあ、いい天気でしたね。

支部フォルダは各支部でデータをアップします。ACE全体のTopPageへのリンクは上越の小川先生に連絡すると変更してくれます。ACE-HomePageの詳細について説明が必要な方は荒島までご連絡ください。しかし，北海道支部はonko.ncf.or.jpがあるので特に支障はないかもしれませんね。

３．支部会員について

６月末の段階で北海道支部の全会員（個人・団体・賛助）は１００名です。

これは関東支部に次いでACE全体で２番目の人数です。ところが，会費の納入は２４名で納入率からいうと下から２番目です。

昨年度や本年度の会費未納者早急に本部にお支払いください。なお，支部事務局にお立ち寄りの際に青柳事務局長に手渡しでもかまいません。

４．ACE 会員証の発行

本年度からACE会員に会員証が発行されます。これには会員番号などが記載されています。カードは毎年発行され，デザインも変わります。（会費未納の場合は発行されません）

５．会費未納への対処

会費について本年度と昨年度未納に対して督促をします。督促を３回受けても納入がない場合ACE Driectや今後発行されるACE-netのIDの停止などの措置がとられます。また，支部によっては支部のNewsletterの配信停止なども考えられます。

さらに，年数がかさむと登録名簿から隠居名簿？へ移動されるなどもあります。なお，払ったか払ってないか忘れて方は支部事務局にお問い合わせください。

新名誉会員！鈴木さんだ～凄いぞ鈴木さんは。

６．次年度以降のPOEMについて

本年度のPOEMから文部省後援となりました。次年度

以降も文部省後援を続けるようにしていきたいと思います。また，本年度から出張依頼書も用意されていたのですが，PR不足から有効に活用されなかったです。（ACE-Net，ACE-HomePageどちらかもでダウンすることができるようになっていたのですが...）出張依頼書の用意は次年度以降も続けたいと思います。

さて，１９９９年は関東支部が担当します。開催地は東京都内（渋谷区内が現在のところ有力です）を予定しています。

そして，２０００年は関西支部が担当です。なんと，２００１年は北海道支部が担当するはめになるかもしれません。みなさん，心の準備をお願いします。

７．名誉会員について

会長提案で，今回のPOEMで講演していただいた，鈴木敏恵さんがACE名誉会員になることになりました。（会長提案わすれか？？）

◆研究会情報◆

日本教育工学会第14回大会は北海道です!!

日本教育工学会（JET）第14回大会の会場は，はじめて北海道になりました。会期は９月26日（土），27日（日），会場は北教大函館校です。すでに，同会のホームページ（http://www.cradle.titech.ac.jp/jet/）でプログラムが紹介されています。

ACE関係では滋賀大附属養護学校の大杉先生，札幌美しが丘緑小の土田先生，山梨大の成田先生の発表が予定されいます。ACE外ではグロコムの豊福さん，横浜市教委の中川先生（MediaKidsの方がわかりやすか？），横浜大口台小の佐藤先生，園田学園女子大（横浜国大の方がわかりやすいか？）の高橋純先生，立命館慶祥の廣野先生などが登場します。さらに，先日家族で北海道旅行を終えたばかりの小川先生@ACE上越が，再度単身北海道上陸するという情報も入ってきています。

申し込み締切は９月７日（月）です。詳細ならびに申し込みは日本教育工学会ホームページでご確認ください。

来年の全国中学校理科教育研究会（全中理）研究大会は福井県です!!

本年度の全中理大会は徳島で開催されました。会期はちょうどPOEMと重なっていました。来年の大会はなんと福井県です。ACE理科教師のみなさん，現在建築中の小林先生@ACE北陸のインテリジェントハウス（何でも家全体に最初からLANをはるらしい）に合宿して，全中理大会－POEM in Tokyoという手もありますね^^;

◆書籍紹介◆

ポプラ社から「インターネットでむかえる２１世紀」という本が出ます。小学校中学年～中学校向，ハイブリット版CD-ROMのおまけつきです。全８巻で28,000円（税別）です。１冊3,500円!!ちょっと高いな...

それで，執筆陣を見てみると…第４巻に砂田先生@札幌中央小，第６巻に吉富先生に堀尾先生，第７巻に辻先生と堀尾先生…なんだ?ACEばっかりじゃないか??というわけで，執筆陣の皆さんにご馳走になりましょう^^;ところでポプラ社にACE特価はないのか???

もちろん，「らくらくインターネットホームページ作成ガイド」，「らくらくサーバー構築ガイド」もよろしくね。

ぜんまい歯車プロジェクト「お父さん復権!!研修会 こどもと共にチャレンジするキューブカート!!」開催

北野台中学校　尾崎

今年の夏もあつかった!!7月の技術家庭科全道研究大会札幌大会(10月22日~23日)の準備に始まり、中学生の娘のソフトテニス市民大会応援。そしてついに始まったのが日本縦断研修会参加ツアーであった。8月2日我々ACE-稚内北星短大サマースクール突撃隊の佐々鬼先生八条中と私oza鬼(=別名ぜんまい歯車実践部隊とも言う。)は朝6時30分札幌に別れを告げしばし修行の旅へと出かけた。途中、昨年のPOEM大阪でのソフトウエア遠隔配信やとてもきつかった稚内の日々を思い出し、今年こそは征服するぞという意気込みで一気に稚内に向ったのであった。

今年は、すばらしい講師・スタッフの皆さんに恵まれ楽しくシステム管理コースの４日間を過ごすことができた。最後の夜の宴会でも今活動中のPC-R用にSUNのIPC３台をゲットし、後半戦も戦う佐々鬼先生を残し、一気に熊本に行こうと思ったが、半澤さんの待つ千歳空港へと向かったのである。

制作風景。おとうさんはんだ付けうまい？

一足先に熊本に向かったACEの皆さんを追いかけて博多天神のPCショップに立ち寄ながら途中電車の中から花火大会を見物し、夜も更けた熊本に到着したのであった。

これから先に話しは、他で語られていると思うので省略するが、九州はとてもあつくビールを大量に消費して札幌に帰ってきたのである。こんなに有意義な毎日を過ごしていたある日、8月22日(土)に行われる、札幌市のネットワークプラザでの「ぜんまい歯車プロジェクトお父さん復権!!研修会 こどもと共にチャレンジするキューブカート!!」を開催するということが頭の中をぐるぐると廻ってきた。たいへんだーー急がなきゃといいつつも、鈴木教育ソフトの岸上氏と連絡を取り合い準備を進めた。

今回は，（株）鈴木教育ソフトの協力を得て、北海道内の教育関係者に呼びかけ、普段研究会などで多忙なお父さんがこどもたちと「物づくりを通してふれあい、父権の復活を目指す」ことを目的とした。

「キューブカートの製作とトレースコースを使ったレース」という内容で

- 光センサーをトランジスタを使って制御する仕組み
- ギアボックスの仕組みと働き
- キューブカートの製作
- 完成したキューブカートの調整

・こどもたちによるトレースコースの作成
・第１回キューブカートグランプリ
を実施した。
参加者は
1武田先生長男チーム　2武田先生次男チーム　3尾崎家悪ガキ雄

テストコースにて。バックはホワイトボード、コースはビニールテープ。

平チーム　4野口先生チーム兄チーム　5野口先生チームお姉ちゃんチーム　6半澤さん　7千歳親子チーム　8荒島先生発寒中科学部Ａチーム　9荒島先生発寒中科学部Ｂチーム　10高橋先生発寒西小チーム　11道新情報開発チーム　12水越先生親子チーム　13高本さん親子チーム　14八条中パソコン部1年　15八条中パソコン部２年　16八条中パソコン部３年
の１６チーム総勢４０名の参加だった。
朝から半田こてを作ってくれたのは発寒中科学部の生徒。そしてお父さんたちは半田ごてと格闘が始まりまった。
いつもチョークしか持ったことないひとやパソコンしかさわっていない人もいる中、様々なこどもとのふれあいを通して、いつもにない張り切りようの人もで始めた。
　中学生チームも気合いが入り昼過ぎにはほぼ全員キューブカートが完成した。
　それぞれ親子で昼食ということで我が家はかどやでウナギというとんでもないわがまま息子と２人の食事をとった。
　午後からは、いよいよコースをこどもたちで作成し、試走が始

表彰式。大盛況でした。

まった。
　しかし、なかなか調整ができない。うまく曲がらないであーでもない、こーでもないと調整が始まった。第１レース目はこんな状態でなかなか完走できないなか､みずこしそうた君が見事完走。周りから拍手が、第２レース目は苦労しながらも４名の完走したが、みんなまだ続きをしたそうという判断で第３レースに突入。電池を交換したり、調整した成果が現れ、次々に好記録がでてくる。最後に順位が発表され賞品を手にした参加者たちは満足そうな笑顔が沢山で会場は和やかな雰囲気で盛り上がっていた。
　昨年からスタートしたぜんまい歯車プロジェクトも今回初の試みとして親子で参加の研修会となったが、普段なかなかできない親子のふれあいをもの作りを通して行えたことがとても良かったように思える。
　今後、更にいろいろな企画をしながらこのプロジェクトを育てて行きたいと考える。
この日の様子は　http://onko.ncf.or.jp/ で見ることができる。Web-notesを使って中継をして下さった道新チームやCGIを作った大橋先生平岡小はじめ協力いただいた関係者の皆さんに感謝申し上げたい。

「梶が谷ハムスター倶楽部」と多機能ＣＧＩ掲示板“WebClipノーツ”の紹介

札幌市立平岡小学校　大橋　剛

　それは1994年。まだブラウザーが"モザイク"全盛期の頃のことだったと思う。当時、唯一のインターネット雑誌で紹介された、あるホームページの記事が鮮明に記憶に残っている。梶が谷に住むハムスター愛好家が集って作ったホームページ「梶が谷ハムスター倶楽部」は、ハムスターが好きではない者にとっても、ハムスターの可愛らしさや、彼らがハムスターにかける愛情がよく伝わってきた。その後、何故か特に気に留めたこともないのに、彼らのホームページは、いつも記憶の片隅に残っていた。
　インターネットでの彼らの行動は非凡であった。メンバー同士の交流はメールに留まらず、メーリング・リスト、画像の添付、ＢＢＳ方式の掲示板へと進化していった。しかし、誰もが一番に切

みなさんおなじみのインターフェイス。速報してると楽しくなります。

望したのが『画像（写真）を自由に・簡単にWebへ貼り付けること』であった。そして、遂にメンバーが独自で開発したのが、まさに、ここで紹介する多機能ＣＧＩ掲示板 フリーソフト“ WebClipノーツ ”である。

インターネットを見ることのできる者全てが、簡単な操作でブラウザーから掲示板形式のホームページに、画像(GIF,JPEG形式)とコメントを貼り付けることができる。最新のバージョンでは画像ばかりか音声(ＷＡＶ,ＡＩＦＦ,ＲｅａｌＡｕｄｉｏ,ＭＩＤＩ)やデータ(LZH,ZIP,PDF,TXT)までもが張り付けることが可能だ。(実は若干のカスタマイズにより、JAVAアプレットやQuickTime , Real Video等の映像も可能なことが判明）セキュリティや管理の自動化による管理者の軽減も考慮されたスグレモノだ。

実物は「オンコの木」（北海道の教育）のホームページ(http://onko.ncf.or.jp/osg/clip/index.html)で稼働中であるので、是非試されて欲しい。8月21日には「ゼンマイ・ハグルマ・プロジェクト」の「キューブ・カート大会」の実況中継をした。(http://onko.ncf.or.jp/zenmai/cgi-bin/)

「ハムスター倶楽部」は“ WebClipノーツ ”を、単に自分達のハムスターの自慢に使っているのではない。ハムスターの病気対策、適度な運動の与え方、ストレスを和らげる研究等、ハムスターの健康と幸せのためのいわば「情報共有手段」としても活用しているのである。ところでこれらの情報、まさに今、教師や親が子供に接する時に求めているものに似てはいなくないか？

教育の基本が愛情であるとするなら、「梶が谷ハムスター倶楽部」が、これほどまでにハムスターにかける、執念とも呼べる“ 愛情 ”から学ぶべきことは、非常に多い・・・と思う。「梶が谷ハムスター倶楽部」と開発・販売元：（有）フレンドリーラボに感謝！

Java 懇談会開催のお知らせ

事務局　吉田

日本サンマイクロシステムズが開催するJAVA関連の懇談会のお知らせです。

アステックの坂下さんって有名なお方なのですね。問い合わせ・参加の申し込みはは事務局・吉田（011-210-5801 または yoshida@hokkaido-np.co.jp）までお願いいたします。

日時：1998年9月21日、16：00～18：30

16：00～16：45
「日本SUNによるSI/ISV支援システムの紹介とサン製品紹介」（刀根繁氏　日本サンマイクロシステムズ（株）ソリューション企画推進部部長）

16：45～17：45
「.Java技術の最新動向」
坂下　秀　氏（株）　アステック営業推進部／技術支援部部長

17：45～18：30・・懇談／質疑

共催：NCF`98、日本サンマイクロシステムズ
場所：札幌市ネットワークプラザ
　　札幌市中央区北１条西３丁目　第百生命ビル５階
参加者：30名、SI,ISV, 大学研究者

編集後記

また引っ越しだ。生まれてから数えて14回目の引っ越しをしようとしています。逆に長い間一つの所にすんでいるとなんかむずむずして転居をしたくなるような破綻した性格になってしまいました。クレジットカード会社の人、３か月で引っ越したからって借金に追われてるわけじゃないですよ。誤解のなきよう。　（吉田）

初めまして。よろしくお願いいたします。触ってきましたiMac。サイコーにかっこいいですね。以前、Macユーザーだった私の血が沸々と騒ぎます。Winからカムバックする『帰ってきたMacユーザー』が増えるのではないでしょうか？　（大橋）

今週金曜日の北道研提言資料ができていないので，こうしてNETで編集会議に参加しています。そうだ吉田変酋長！NETで分担して封筒貼りできるアプリケーションを開発しよう！そうすると編集会議はNETで全部できるわ ^^;さて，今年のPOEMも盛会の内に終えることができました。馬刺も熊本ラーメンも皿うどんもチャンポンもカステラもアイスクリンも食ったし，しろも呑んだし，心残りは茶碗蒸だけか？ ...って何しに九州までいってきたのでしょう？そうそう９月はACE北海道の研究会の月です。みなさん奮ってご参加ください。今年のPOEMで思ったこと ...ACEはやっぱり自分から何かしないと楽しくないです。皆さん受け身ではダメです。これからもチャレンジするACE会員でいましょうね。さて，年会費を払った会員のみなさん，本部事務局にFAXファックス出してMS-OFFICEをGETしましょう！　（荒島）

今回はある助成関連申請のリミットのため、お尻に火がついてせっかくの特大号の編集にまったく参加できなかったです・・・この募集要領のまだるっこしさに辟易としてます。A4一枚でほとんど言い尽くせるのになあ。次号からは所帯も持つし（関係ないか)、たくさん書くぞー。　（青柳）

今年の夏は筋金入りでした。POEM98ツアーで初めて訪れた熊本、長崎はどこへ行っても青空状態で、気温37℃、湿度98%だったような気がします。しかしながら阿蘇のすばらしい景色と情緒ある長崎の町は、あの暑さがあったことで強い思い出として残っていくことは間違いありません。そして、ACEの仲間とふれあった学生たちは、あの８日間でまた少し大人になったようです。さて、もう一つのイベント「ぜんまいはぐるま」は、我が家の子供たち全員連れ添い参加しました。初めてのはんだづけも２時間も経つと結構うまくやってるではありませんか。う～ん。実践するって本当に大切ですね。　（野口）

女性社員から奪った形で使用中のVAIOですが、もう僕の体の一部と化してます。のでＩＰアドレスと同様返却再割り当てを検討中。iMACにするかな？でも持運びが出来ないのが難点。（田中）

長い長い旅だった。マルチメディア紙芝居の一行は、峠を越え、夏を過ごし、海岸へ続く道を進んでいった。やっと行き着いたころには、すすきの穂が風にゆれるころだった。そんな皆にめでたい知らせが届いた。やぎへいが嫁をとる。ツトにめでたいお話しじゃ。皆の顔が明るくなった。宴会じゃ。楽器をならし、唄が聞こえる。やぎちゃん！おめでとう！お祝いメールを受け付けます。さあ、皆で、オメデトー！！　（武田）

教育とコンピュータ利用研究会　北海道支部
1998年8月31日発行